

2014年度 國學院大學 法学会懸賞論文 受賞者

2015年1月29日

今回の法学会懸賞論文には、54点（法律系29点、政治系25点）の応募論文がありました。法学会で、厳正に審査した結果、次の学生諸君が入賞しましたので、ここにその栄誉をたたえ、発表いたします。

受賞者・論文題目 (50音順)

最優秀賞

羽中田 卓 (4年)

自民党総裁選の「党员投票」と派閥
—改革と変容の二重構造—

優秀賞

高田 彩也 (4年)

強制処分法定主義の限界
—「新しい強制処分」と資料保存からの検討—

優秀賞

中山 榛名 (3年)

万引き目的のデパートへの立入りは建造物侵入罪になるのか

佳作

石松 玲依奈 (4年)

自白法則における諸学説の再検討と新基準の提唱
—任意性説群と違法排除説の共通点の追及—

佳作

八島 真美 (4年)

刑事訴訟法理論における当事者についての検討
—被害者参加人という法的地位を契機として—